

2018年4月2日



鯖江産の老眼鏡「ペーパーグラス」の取り扱いを開始

折りたたむと薄さ2mmになる便利な携帯性と優れたデザイン



画像：折りたたむと薄さ2mmの「ペーパーグラス」(オーバル)



画像：
付属ケース

【リーディンググラス（老眼鏡）商品概要】

商品名	ペーパーグラス
製造	株式会社西村プレジジョン（福井県鯖江市）
素材	フレーム：ニッケルシルバー
重さ	15g
デザイン	：カラー オーバル：ゴールド／ピンク／レッド スクエア：ゴールド／シルバー／グレー (どちらも男女兼用可)
度数	+1.0／+1.50／+2.00／+2.50／+3.0 (+1.0、+3.0はオンラインストアのみ)
価格	15,000円(税抜)
販売店舗	洋服の青山 100店舗 オンラインストア
*オンラインストアでは4/28(土)から販売予定です。	
取り扱い店舗一覧： https://goo.gl/rUAGRc	

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：^{おさむ}青山理）は、折りたたむと薄さが2mmになる鯖江産のリーディンググラス（老眼鏡）「ペーパーグラス」を企画製造販売する株式会社西村プレジジョン（本社：福井県鯖江市／代表取締役社長：西村昭宏）と販売契約を結び、4月2日（月）から「洋服の青山」の100店舗で取り扱いを開始します。

昨今、20～30代のスマホを長時間使用する層の「スマホ老眼」が話題となっています。ほとんど一時的なものですが、老眼の若年齢化も指摘されています。そこで今回、これまでの老眼鏡のイメージと異なりファッション性も兼ね備え、スーツやジャケットを着用したビジネスシーンからカジュアルにと幅広くコーディネートでき、弊社の主な顧客の年代層にもマッチする「ペーパーグラス」の取り扱いを開始します。

ペーパーグラスは、世界三大眼鏡生産地の1つである福井県鯖江市で生産されています。鯖江市は、日本でMADE IN JAPANフレームの9割以上のシェアを誇る産地の中心であり、「眼鏡の聖地」と呼ばれています。今回の商品は、折りたたむと薄さが2mmになるため長財布やジャケットの胸ポケットなどに収納でき、携帯性に優れています。*薄さ2mmは、レンズの付いていないフレームのみの状態です。

フレームのデザインは、オーバル型・スクエア型の2種で、各3色を取り扱います。ペーパーグラスには、独自の構造により凹凸や鼻あてがないため、一般的な眼鏡に比べて壊れにくく、鼻に着用時の跡が付きにくくなっています。レンズは、反射防止マルチコート、傷防止ハードコート、UV360を施した薄型非球面レンズを採用しています。なお、購入時には専用ケースとメガネ拭きも付属しています。

ペーパーグラスは、これまでに「グッドデザインアワード 2013BEST100」特別賞、「アジアデザイン賞 2014 ブロンズ賞」、経済産業省選定の日本が誇るべき優れた地方産品「The Wonder 500™」に認定（2015年8月）され、各方面から高い評価を受けています。

《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京本部広報室 竹野

〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 TSC TOWER 7F

TEL:03(5846)5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp